

たかつき市民活動ネットワーク NEWS

2005.6.25 第9号

発行：たかつき市民活動ネットワーク

TEL：090-7348-4525

FAX：072-688-7328

2005年度通常総会を開催しました！

5月14日(土) 午後1時30分より、高槻市市民公益活動サポートセンターにおいて、2005年度通常総会が開催されました。

正会員の総数55名(個人:42、団体:13)の中、委任状を含めて、38名の方が出席されました。

進行役は松尾正隆さん、議長には松浦正徳さんが選出されました。鍵谷理事長と各担当理事より、2004年度の事業報告、収支決算報告につづき、2005年度の事業計画、収支予算等が審議され、提案通り全会一致で承認されました。

今年度は、昨年度の成果をさらに発展させる方向で、主として次の活動に取り組みます。

(1) 市民活動団体と行政との連携、協働促進事業

- ① 協働活性化モデル事業への参画
- ② 協働事例研究会への参画
- ③ 高槻市市民公益活動促進フォーラムの共催
- ④ 協働についての冊子の編集と普及

(2) 市民活動団体のネットワーク促進事業

団体会員のみなさんとのネットワークを強化する中から、NPO間のネットワークづくりと協働を模索します。

(3) 市民活動などに関する調査研究事業

04年度の線上で事業をすすめ、「高槻市民が知りたい100項目」から創発された派生テーマの調査研究を行います。

(4) 交流事業

04年度に引き続き参加範囲を会員外にも広げ、交流サロンを発展させます。交流サロンは、年に10回程度の開催と参加者300人を目標に、魅力あるサロンに努力します。



次期役員は、役員推薦委員会の提案どおり全会一致で次の方が選任されました。任期は2年間。

理事(9名)：

鍵谷誠一、坂田朱美、遠矢家永子、
日比 徹、宮津 昭、山下征紀、
山本外志子 (以上留任7名)
飯村六合夫、魚住正名 (新任2名)

監事(2名)：江畑庄一郎(留任)、松尾正隆(新任)

第1回理事会で担当決定しました

理 事 長：鍵谷 誠一
副 理 事 長：遠矢家永子
事 務 局 長：飯村六合夫
協働部会担当：遠矢家永子
研究部会担当：山下 征紀
交流部会担当：日比 徹

高槻市民が知りたい100項目！

総会に引き続き、研究事業として作成中の『高槻市民が知りたい100項目(たたき台)』について、松尾さんがファシリテータとなり、4グループに分かれてワークショップを開催しました。詳細は次ページ「研究部会だより」をご覧ください。会員皆さんのご協力により今後研究部会で作業を進める上での参考になりました。感謝致します。

協働部会だより

担当理事 遠矢 家永子

昨年度、協働部会は NPO と行政との協働に焦点を当て活動を展開し、ある一定の成果を得ることができました。更に今年度は、NPO 間のネットワーク構築に向け、役員 5 名(山本・江畑・魚住・飯村・遠矢)が協働部会のメンバーとなり、取り組みを始めました。第 1 回は、「高槻市協働活性化モデル事業」の説明会の開催に向けての、企画検討会議でした。当初、NPO 法人に広く参加呼びかけをと思っていましたが、日程的に無理であることから、ネットワーク会員と 03、04 年度のフォーラムのヒント集に参加いただいた団体のみなさんにお声かけを致しま

した。急なお誘いではありましたが、6団体・15名の参加があり、2 部では江畑さんに「街かどデイハウス」における NPO 間や行政との協働の具体例を紹介していただき、今後の当団体における NPO 間のネットワークづくりについて意見交換しました。

協働部会の取り組みに多くの会員の皆様のご参加をお願いしたいと思います。ご参加いただける方は、遠矢(NPO 法人 SEAN : station@npo-sean.org / TEL・FAX072-684-8584)までご連絡下さい。ともに考え、ともに取り組んでまいりましょう。

研究部会だより

担当理事 山下正紀

5月14日、ネットワーク総会後、“市民が知りたい100項目”について、4つのグループに分かれ、①100項目で興味のある項目の指摘(得票数) ②追加してみたい項目 ③100項目まとめの活用の仕方、について会員のみなさまの意見と知恵を頂きたいと、松尾研究員によるワークショップを行いました。①では、介護保険、独居老人、ゴミ、公共施設(学校)の利用実態、ボランティアの状況等、生活に身近な項目が上位に上がっています。②では市民相談、公益団体の内容、都市計画(道路の整備)等。③の活用ではHPでの公開を通じて、中間支援機能としての橋渡し(インタープリター)の役割など、

研究員メンバーでは気づかないヒントをいただきました。ご参加いただいたみなさまにお礼を申し上げます。この貴重な意見データをベースに5月28日の研究部会で掘り下げ、今後の聞き取り作業の視点に付加していくことになりました。このワークショップをきっかけに、新メンバーも加わり総勢9名。研究内容を具体的なカタチにしたいと、目下編集の入り口に立っています。

研究部会は第1・3土曜日、午前10～12時にサポートセンターで実施しております。みなさまの更なるご参加をお待ちしております

交流部会だより

担当理事 日比 徹

現代社会の課題・問題の認識を深めて、“まちづくり市民活動”の一助になることを目指したテーマで、交流サロンを開催してまいります。交流サロンの開催結果及び予定は次の通りです。

第16回;6月4日(土)“高槻市の福祉の現状と今後について”福祉政策室長 神門氏より、少子高齢化、財政事情等より、市民協働が必要になるとの話がありました。

第17回;7月16日(土)“学校教育の現状と問題・課題について”教育委員会指導課長 樽井弘三氏。最近のマスメディアの報道より、教育制度が曲がり角にあり、少子化、犯罪、世界の中の位置付け等より、

課題・問題は何か認識を深め市民としての対応・解決法を共に考える事が必要と感じ、講話をお願いしました。

第18回;8月27日(土)を計画中“高槻市の財政の現状と今後について” 財務部長へ要請中。 税収の減少、出生率の減少、少子高齢化、ニートの増加、人口の減少、要望の多様化、等々により高槻市の財政困窮化が言われています。その内容はどのようになっているのか?市民にわかりやすく理解できるようにすることが必要と思います。市民生活のレベルを低下させないようにする方法があるのか?考えたく思います。ご期待ください。

『会員PRコーナー』 前回に引き続き、4団体の自己紹介です。

NPO 法人 ニュースタート事務局関西 水谷 宏明

不登校や引きこもりは病気ではない。豊かであるが、出口が無い、競争社会である。そんな社会を若者たちは拒絶しているのです。ニュースタート事務局関西は、不登校や引きこもりの若者の「対人恐怖の克服」「親からの自立」「社会参加」を3つの目標として活動してきました。

不登校・引きこもりの若者を自宅から引き出す訪問活動を行うレンタル・パートナー活動。友達作りやコミュニケーションを学ぶグループセラピー「鍋の会」をはじめとする各種イベント。親からの自立のための共同生活寮の運営や労働体験の場所の提供。

これらの活動を通じて引きこもりから社会参加への足がかりを作っていきます。2004年より大阪府福祉推進財団の助成を得て地域通貨NS券の発行を開始し、地域社会と若者たちとのつながりを模索しています。2005年より若者たちの就労支援を目的とした関連NPO「日本スローワーク協会」を設立し、スローな働き方をコンセプトに「新しい働き場所」作りを目指している。

社会福祉法人 つながり 事務局長 今井 司

当法人は、一人ひとりの生活から出発した地域福祉の姿を創り出し、地域の人々が生きがいをもって積極的に参加できる協働による市民ネットワークを推し進めていくことを目的としています。

【主な事業】

支援費事業

1. 知的障害者通所授産施設サニースポット
知的に障がいを持って働く機会の得られない人たちに働く場を提供し、就労支援を行う施設です。また、重い障がいを持っている方へは日常生活支援を行います。
2. 知的障害者地域生活援助事業(グループホーム)住宅において数人の知的に障がいを持つ人が共同生活を行い、日常的支援を行います。

独自事業

1. ガイドヘルパー養成講座
2. レスパイト・タイムケア
3. 施設開放
4. 高齢者会食など

NPO 法人 街かどアライブ西冠 理事長 江畑 庄一郎

介護予防を目的とした高槻市の制度で、市内にお住まいの65才以上の介護サービスを利用していない方を対象とする日帰りサービスを行っています。

一人一人が健康で生き生きとした人生を送ることができるようサポートし、地域の人々とのふれあいの中で気軽に集える場所として運営しています。

アライブ西冠の特徴

全国で広く取り入れられてきている「心身機能活性療法」のプログラムを導入しています。これは「脳と心と体」を鍛え、認知症や脳血管障害に画期的な効果が期待されています。温熱で感覚機能を、運動器具を使用して身体機能を、体を動かすゲームによって精神・身体機能の改善及び活性化を促しています。

NPO法人 高槻の高齢社会をよくする会

<目的>

地域住民の参加により、高齢者や傷害を持った人達等が在宅で安心して暮らせるために、必要な事業を行い、人として尊厳を持って生きられる豊かな人間関係を創ることで地域社会に貢献する。

<活動>

- ・学習、啓発、相談事業
- ・井戸端会議による交流
- ・介護事業(通所、訪問、ケアプラン)
- ・街かどデイハウス
- ・助け合い活動(たすきの会)
- ・ボランティア活動

手づくり工房(どんぐり)

「はむろ」での活動

<問合せ先>つどいの家「はむろ」

(TEL:696-8420)

サポートセンターからのお知らせ

サポートセンターも3年目を迎えました

5月21日にサポートセンター管理運営委員会総会を行い04年度の活動報告・決算など承認しました。また、05年度の事業方針・予算など決定しました。その要点をご報告いたします。

(1) センター利用状況について

年度	利用者数	団体数	備考
02	9		
03	2,200	49	
04	2,900	63	辞退2団体

(2) 主な活動・事業について

- a, 行政との協働については、まちづくり塾、行政職員のNPO研修、シニア社会活動まちづくりハンドブック改訂など実施。
- b, 中間支援事業・相談事業について
会計支援、ヘルパー連絡会議、移送ネット発足支援、登録団体交流会など
補助金、法人格取得、ボランティア紹介、団体運営、活動場所の確保など
- c, 西大冠小学校総合教育、ボランティア市民活動センターとの協力など
- d, シニア社会活動マッチング

(3) 会計の承認(管理会計、事業会計、積立金会計、シニア会計)

役員に次の方を選出しました

運営委員長	坂田朱美
副委員長	江畑庄一郎
センター長	宮津 昭
会計	山本外志子

ネットワーク理事会からのお知らせ

通常総会の開催通知に同封してお知らせしました当会のロゴマークの募集を5月31日に締切りました。残念ですが、理事以外の会員からの応募がありませんでしたので、今後9月末を目標に理事会で検討することになりました。

今後の予定

新年度活動方針として次の事業を決定

a, 中間支援事業・相談事業として

①ネットワークづくり、各種講座、登録団体交流会など

②団体立ち上げ支援、協働の提案、モデル事業など

b, 情報収集・発信活動など

①NPOなど団体の活動把握

②HP・ニュースレター発行

c, シニア社会活動マッチング事業

d, その他

05年度総額予算を承認

① 管理会計 (¥2,918,000.-)

② 事業会計 (¥190,000.-)

③ 積立金会計 (¥101,468.-)

④ シニア会計 (¥1,840,000.-)

ネットワーク今後の予定

6月30日 : 協働部会

7月 1日 : 研究部会

7月12日 : 第3回理事会

7月16日 : 研究部会。交流サロン

8月 9日 : 第4回理事会

9月13日 : 第5回理事会

編集後記

梅雨入り宣言がなされましたが、例年以上の異常気象を心配しております。新事務局長として、初のニュース編集。ベテラン編集員のいじめに屈せず、どうやら発行できる運びとなりました。どうやって新鮮味を皆様にお届けし、興味をもっていただくかが、今後の課題のようです。

【緑】